

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL.15 2016年8月21日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

残暑御見舞い
申し上げます！

山本陽子事務所
〒605-0851 京都市山科区西野大手先町8-8
☎595-8342



こころのふれあい夏祭り

山科こころの健康を考える会の主催で、「第17回こころのふれあい夏祭り」が開催されました。ステージで歌って、踊って、楽しいお祭りでした！ 精神障がいの方が作業所で作られた商品も販売されていました。

夏祭りの前日に、重度の障がい者の方を襲う痛ましい事件が発生しました。障がい者に対する偏見をなくして、お互いに一人の人間同士として接することができるようになるには、日頃から障がいをもつ人とふれあえる社会をつくることだと思います。私も大学時代に障がい児学童保育の指導員をした経験が人生のなかでの宝物になっています。

山科区役所の担当課長さんいわく、「参加者の子どもたちがスタンプラリーを楽しみながら作業所の皆さんと接する機会にしていきたい」とのことでした。



作業所の作品を販売するお店で



JR 奈良線の高速化・複線化 第二期工事起工の記念式典

JR 奈良線が全線開業してから今年で120周年になるそうです。JR 奈良線は京都市、宇治市、城陽市、木津川市、井手町、宇治田原町の沿線住民の足として、重要な役割を担ってきました。



複線化は一期工事で24%、今回の二期工事で64%達成するそうです。地方を便利な公共交通でつなぎ、発展させていくことがこれからの社会には必要です。

市議団の他都市調査へ！

広島市（くらしサポートセンター）、北九州市（いのちをつなぐネットワーク事業・中学校給食）、防府市（バイオガス施設）、直方市（公契約条例）、福岡市（自治協議会補助金）に、三日間かけて調査に行きました。

◆いのちをつなぐネットワーク事業

北九州市では2007年に「おにぎりたべたい」という言葉を残して男性が孤立死した事件のあと、生活保護行政がどう改革されたのか、聞き取りしました。生活困窮者に限らず、支援を必要とする方を制度につなげる「いのちをつなぐネットワーク」事業を立ち上げられています。すべての区役所に担当係長を配置し（計16人）、地域包括支援センターはすべて市の直営に、すべてのセンターには行政保健師が配置されていました。

網の目の細かい支援を可能にする体制づくりのためには、やはり行政が責任をもって実施することが重要です。

◆中学校完全給食化

中学校完全給食も実施しています。子どもの食育には時間がかかる、という認識のもとに、中学校給食を実施すれば、子どもたちが小学校と合わせて9年間にわたって生きた教材として「給食」を利用することができるかと評価されていました。小学校の調理施設を活用し、中学校の分まで給食をつくって配送する親子方式です。

調査によれば、実施前は生徒の3割しか給食の必要性に賛同しなかったのが、給食が実施されたあとの調査では、7割の生徒が「給食は楽しい！」「会話がはずむ！」と答えたという結果がでています。京都市でも導入に向けて働きかけていきましょう！



小野小の夏祭り

小野小学校のなつまつりに、PTAの文化厚生委員会委員長として参加しました。詳しい報告はママチャリ子育て日記↓につづく…



小学校の夏祭り

〜垣間見た娘の素顔〜

ママチャリ子育て日記



今年、小野小学校PTAの文化厚生委員会委員長にもなったことから、夏祭りには前日準備、当日要員として参加しました。他の行政区の夏祭りとは違い、PTA中心にすべての役員の参加で行います。地元の自治連の役員さんの力も借りて流しそうめんも。四〇〇人近い子どもの参加で、終日大賑わい。私は、お菓子つりの千本引きなどを担当しました。長女は、お友達と一緒に一日遊んでまわっています。

途中、連れのお友達が、「長女がいない」と探しているのに出会い、流しそうめんが始まる時間でもあるので、あちこち探し回ると、なんと、お友達をよそに自分ひとり、すでにすっかり流しそうめんを食べていました……。たくましいと言ったかなんと言

うか……。親の手から離れた行動のなかで、垣間見えた娘の素顔に苦笑。

